

平成22年度

橋梁技術発表会及び講演会

-安全・安心な鋼橋-

参加費無料
定員**250**名
申込先着順

会場 **NTT夢天神ホール**

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-35
岩田屋本店本館7F
Tel.092-781-8888

平成22年

日時

11

水

24 13:00~17:25

13:00~13:10

開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会
会長 須賀 安生

13:10~13:25

橋建協レポート

こんなにもある鋼橋のすばらしさ!!

需要創造特別委員会

申込方法

- ① Fax. 092-475-6255 (裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月下旬から)

申込期限 平成22年11月12日(金)

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒810-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19
(KS・T駅東ビル)横河ブリッジ内
Tel. 092-475-6255

継続教育 CPDS認定予定

- ※東京地区は 10月13日(水) (特別講演講師:東京大学 小澤教授)
大阪地区は 10月29日(金) (特別講演講師:大阪工業大学 栗田教授)
東北地区は 11月 5日(金) (特別講演講師:東北学院大学 中沢教授)
中部地区は 11月11日(木) (特別講演講師:名城大学 宇佐美教授)開催です。

申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

発表原稿のPPTはホームページに掲載しますので、ご希望のかたは
ダウンロードするようお願いします。

第1部:技術発表会

13:25~14:10

1.鋼構造物試験体の耐久性

確認試験に関する報告

—腐食環境の厳しい場所(沖縄地区)において—

技術委員会製作小委員会 前川 清隆

14:10~14:55

2.鋼・コンクリート合成床版の実橋調査

—靱橋の載荷実験と非破壊検査—

技術委員会床版小委員会 大久保 宣人

14:55~15:40

3.カントー橋工事報告

—大規模複合斜張橋の製作、架設について—

企画委員会国際小委員会 室井 進次
岡本 有造

15:40~15:50

休憩

第2部:特別講演会

15:50~16:20

1.環境に優しい社会を支える建設用鋼材

社団法人 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会
橋梁用鋼材研究会

16:20~17:20

2.長崎県における鋼橋の
損傷事例と維持管理戦略

長崎大学
工学部 環境システム工学講座
教授 中村 聖三

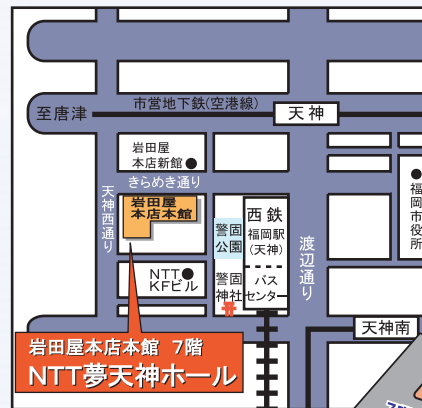


17:20~17:25

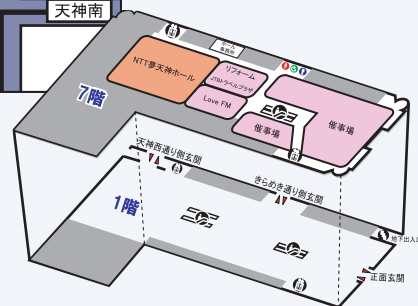
閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

アクセス



- 福岡市営地下鉄天神駅6番 出口から徒歩4分
- 西鉄福岡天神駅より徒歩2分



1 鋼構造物試験体の耐久性確認試験に関する報告

— 腐食環境の厳しい場所(沖縄地区)において —

鋼構造物における維持管理コストを低減することを目的として、(社)日本橋梁建設協会では、(独)土木研究所と防食方法の耐久性に関する共同研究を行っている。塗装系では平成3年4月から、金属溶射皮膜では、平成14年6月から、それぞれの防食方法における耐久性の検証を目的として、大型試験体および試験板を設置して暴露試験を開始し、継続的な観察を行っている。本報告は、塗装系に関しては15年経過の総括、金属溶射に関しては7年経過の途中報告を行うものである。

2 鋼・コンクリートの合成床版の実橋調査

— 鋳橋の載荷実験と非破壊検査 —

橋建協では、合成床版の健全度評価方法として、床版たわみで劣化度を判定する方法を検討しています。RC床版では、衝撃加振によるたわみ計測方法が東京都土木研究所で開発されていますが、これを合成床版に適用することを検討しました。東京都の鋳橋を対象として、衝撃加振によるたわみ計測と荷重車を用いた静的載荷実験およびその評価、各種非破壊検査を実施した結果を紹介いたします。

3 カントー橋工事報告

— 大規模複合斜張橋の製作、架設について —

カントー橋は、ベトナム国ホーチミン市から南に約180kmに位置するカントー市を流れるメコン河最大の支流であるハウ川に架かる全長2,750mのアプローチ桁、斜張橋(橋長1,010m、中央径間550mの複合斜張橋)からなる国道1号線上の橋梁である。大成・鹿島・新日鉄の共同企業体で本工事を受注し、新日鉄は斜張橋部のケーブル(1,616t)とケーブル制振装置などの付属品、中央径間550mのうちの鋼床版箱桁210m(2,804t)の製作、架設を担当した。

本報告書では、本工事の技術基準を含む契約内容、事業主、エンジニア、請負者間の業務の進め方、および、ケーブル、鋼桁の製作、架設の概要について報告する。

特別講演会

1 環境に優しい社会を支える建設用鋼材

社団法人 日本鉄鋼連盟 建設環境研究会
橋梁用鋼材研究会

鉄は私たちの生活に密着し、特に建設分野では日本の国内向け普通鋼の約半分が使われ、現代社会のインフラストラクチャーを支えています。

今日まで、私たちは建設用鋼材の製造段階から使用段階に至るまで、環境に優しい建設を可能とすべく様々な工夫と取組を実施してきており、本発表では、これらの取組内容と共に環境配慮型の各種建設用鋼材の特徴について報告致します。

特別講演会 講演者紹介

2 長崎県における鋼橋の損傷事例と維持管理戦略

中村 聖三 長崎大学 工学部
環境システム工学講座 教授

— 略歴 —

1963年 福岡県生まれ
1986年 九州大学工学部土木工学科卒業
1988年 九州大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
1988年 川崎製鉄株式会社 研究開発センター 研究員
1994年 川崎製鉄株式会社 鋼構造研究所 主任研究員
1995年 博士(工学)(九州大学)の学位取得
1998年 川崎製鉄株式会社 橋梁・鋼構造技術部 掛長
1999年 長崎大学工学部社会開発工学科 助教授
2010年 長崎大学工学部環境システム工学講座 教授

— 研究分野 —

鋼構造の設計
維持管理
— 所属学会 —
土木学会
日本鋼構造協会
溶接学会
九州橋梁・構造工学研究会
腐食・防食協会
— 受賞 —
1996年 奨励賞(論文部門)受賞
平成7年度日本鋼構造協会

講演概要

国土交通省が2007年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設したことが契機となり、各地方自治体による橋梁点検およびその結果に基づく長寿命化修繕計画の策定が精力的に行われるようになった。長崎県は平成20年3月には橋長15m以上の全橋梁について長寿命化修繕計画を策定、公開しており、全国で最も早く長寿命化修繕計画の策定を完了した地方自治体の一つである。今回は、「鋼橋の安全・安心」を維持する方法に関する議論の参考にさせていただき、長崎県における鋼橋の損傷事例と維持管理戦略を紹介したい。

FAX番号:092-475-6255

平成22年度

橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無